

拾い物パラダイス in 生物室



7月2日(土) 13:30 カメ調査から戻ってくると、生物室には**発泡スチロール**に入った得体の知らない物体が…。そして、黒板には、これまた意味不明の文字が……。さらに、肝心のKさんはいずこに？



「なになに、**タヌキを捕まえた**のか。とうとうやったのね。こりゃまたすごいね。…よろしくおねがいします？って、いったいどうすりゃいいの。」(生物部部长談)



どうやら、Kさんの友達の家の近くで**タヌキの死体**があるという情報を聞きつけ、Kさんはさっそく取りに行ったようだ。そして、運んできたタヌキを入れておく箱や氷を保健室から分けていただき、私が戻ってくる間、痛まないように冷やしていたということらしい。職員室では、土曜の午後のけだるい雰囲気が一変し、緊急事態的雰囲気包まれていた。この後、タヌキは**生物準備室の冷蔵庫内**で保管されることとなった。



とうとう、**解剖女子**たちの念願が叶うことになったようである。「念ずれば、花ひらく」これは1学年の目標でもあるが、タヌキの解剖がしたいと念じていたので、やがて花ひらいたのである(どんな花じゃ)。この後、このタヌキを使って何をどうしたいのかはまだ不明であるが、彼女たちが再び仲間を引き連れ、生物室がにぎわうことは確実だろう。それならいっそ**公開**でやって欲しい。



ところで、生物室にはいろいろな拾い物が、連日持ち込まれている。左の写真で上から、車に轢かれてぺちゃんこになった「**ヤマカガシ**」(へび)のオス、校舎内で捕まえた**クワガタ**(すぐ逃がしたらしい)、「**オオスカシバ**」正面玄関前のクチナシに発生する幼虫が変態した昆虫。羽が透き通っているのでハチに似た蛾という感じだ。そして、最後は「**オニヤンマ**」校舎内に入っていたらしい。

こうして、いろいろな拾い物が次から次へとやってくる。ここ生物室は、まさに**拾い物パラダイス**。ええい。もう、やけくそだ〜。何でも持ってこい。